



須田っ子

第23号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」 SA・SU・GA・DA

人権について考える

校長

1月の全校集会で、人権についての話をしました。須田小学校では、12月4日(金)～12月10日(木)の人権週間に、全学年で、「コロナ差別と偏見をなくそう」の授業を実施しました。しかし、新型コロナウイルス感染症関連だけでなく、「いじめ」や「差別」などの人権問題は他にもあります。新潟県人権教育・啓発推進基本指針では次の13の人権課題を挙げています。「女性」、「子ども」、「高齢者」、「障害者」、「同和問題」、「外国人」、「感染症患者等」、「新潟水俣病被害者」、「北朝鮮による拉致被害者」、「犯罪被害者やその家族」、「刑を終えて出所した人等」、「インターネットによる人権侵害」、「様々な人権問題」。

どの人権課題も喫緊の課題であり、解決に向けた取組を進めることが大切です。須田小学校では、1月～2月初めに、新潟県同和教育研究協議会作成教材『生きる』シリーズを活用した授業を行いました。

同和問題とは、「皮革の製造」や「町や村の警備」、「草履や雪駄づくり」や「竹細工」、「医薬業」や「城や寺社の清掃」、「犯罪者の捕縛や行刑役」、「町や村の警備」や「芸能」など、社会的に必要とされる仕事や役割・文化を担っていたにもかかわらず、日本の封建時代に形成された身分制度において、武士や農民、町人とは別の身分にされた人々は、様々な差別を受け、住む場所も制限されていました。これらの人々が住まわされていた場所を主として、経済的、社会的、文化的に低位の状態を強いられ、今なお結婚を妨げられたり、就職で不公平に扱われたり、日常生活の上でいろいろな差別を受けるなどの我が国固有の重大な人権問題です。

全校集会では、これらの話をした後で、これまでも話をしてきた「自分のいいところを見付けよう」や「自分の気持ちを伝えよう」、「相手の気持ちを考えよう」と「いろいろな意見を認め合おう」や「自分の行動に責任をもとう」、「思いやりの心をもとう」などの話をしました。

右の絵は何に見えるでしょうか。これは、「いろいろな意見を認め合おう」の話の時に使った絵です。



子供たちからは、3つの見方が出てきました。別の見え方が紹介されると、「あ、本当だ」という声が出ていました。



1月と2月に授業を行った様子です。2年生は、12月に授業を実施しました。

学習参観ありがとうございました

今年度は積雪が多く、駐車場を確保できない状態でしたが、2月5日（金）の学習参観、その後に行われました学校保健委員会や学年会に多数の保護者の皆様から参加いただき、ありがとうございました。お子さんの一年間の成長は実感できたでしょうか。新型コロナウイルス感染症の影響で、授業参観がほとんど実施できない一年となりましたが、来年度は GIGA スクールで各学校の整備された環境を活用して、ネット配信なども検討していきたいと思えます。



学習参観、学校保健委員会の様子、校内書き初め・版画展の様子

がんばりタイム（なわ跳び）

2月18日（木）の3時間目にはなわ跳び大会が予定されています。それに向けて、ひまわり班では大なわを使って八の字跳びを、各学年では短なわを使った技の練習をしています。12月から開始したがんばりタイムですが、上の学年の子供たちが、下の学年の子供たちをサポートして、八の字跳びの大なわに入るタイミングを教えたり、短なわの回数を数えてあげたり、アドバイスをしたりする姿が見られました。なわ跳び大会でも目指すのは「自己ベスト」です。体調を万全にして、全員が自己ベストを出せるようにしてもらいたいと思えます。



冬鳥越スキーガーデンで自然体験

2月1日（月）に、1，2年生が、冬鳥越スキーガーデンで、ソリ遊びなどをしてきました。当日は大変よい天気になり、白銀の世界を満喫しました。



冬鳥越スキーガーデンでの様子
楽しそうに滑っています。
最後はみんなでハイ、ポーズ。